

**子宮収縮抑制剤の新生児への影響調査・検討の調査対象者の皆様へ
過去のデータの調査研究への使用のお願い**

日本周産期・新生児医学会では、下記の研究を行っております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

研究課題名	子宮収縮抑制剤の新生児への影響調査・検討 (No2017-1)
研究責任者	日本周産期・新生児医学会 子宮収縮抑制剤の新生児への影響調査・検討ワーキンググループ委員長 楠田 聡 (杏林大学医学部小児科)
共同研究機関	全国の周産期医療施設 (約 300 施設)
本研究の目的	硫酸マグネシウムあるいはリトドリン塩酸塩で切迫早産の治療を受けた母体から出生した新生児での、高カリウム血症および低血糖症の発生状況の調査
研究期間	2017年8月1日～2018年3月31日
研究の方法	<p>■対象 2014年の日本産科婦人科学会の周産期登録事業に登録された在胎32週0日～36週6日で出生した新生児</p> <p>■利用する情報 2014年に日本産科婦人科学会の周産期登録事業に登録された在胎32週0日～36週6日で出生した新生児の在胎週数、出生体重、性別、複産の場合の胎児数</p>
試料/情報の他研究機関への提供	他の機関への試料・情報の提供はない
個人情報の取扱い	利用する情報から個人を直接特定できる情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表する予定ですが、その際も個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究は、研究責任者が所属する一般社団法人日本周産期・新生児医学会の研究費で行っており、特定の企業・団体からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。
問い合わせ先	子宮収縮抑制剤の新生児への影響調査・検討ワーキンググループ 研究責任者：楠田 聡 TEL：03-5228-2074 FAX：03-5228-2104